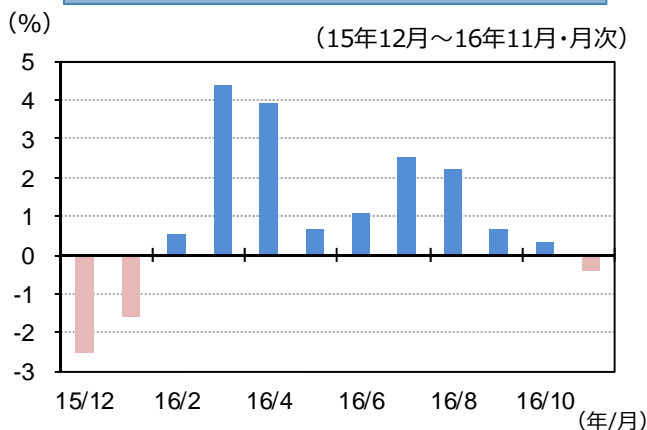


## 11月の米国ハイールド債市場は小幅に下落

11月の米国ハイールド債市場は、月前半は、米大統領選挙後に国債利回りが上昇したことから、下落しました。月後半は、原油価格の反発などを背景に、上昇に転じました。対米国債スプレッドは、縮小しました。

米国ハイールド債の月間騰落率の推移



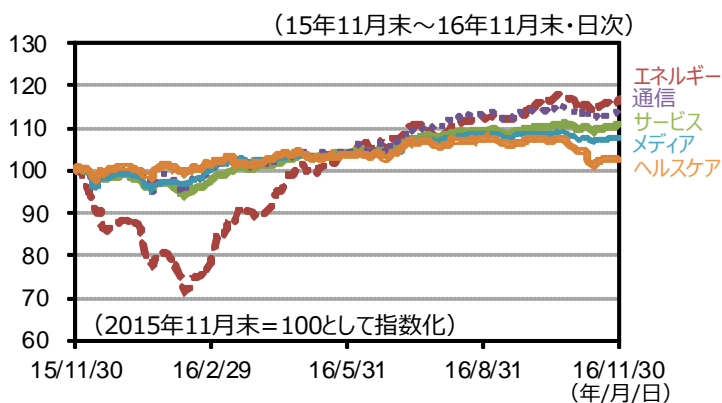
米国ハイールド債の対米国債スプレッド\*の推移



\*対米国債スプレッドはOAS（オプション・アジャステッド・スプレッド）。線上課還を考慮した米国国債との利回り格差のこと。

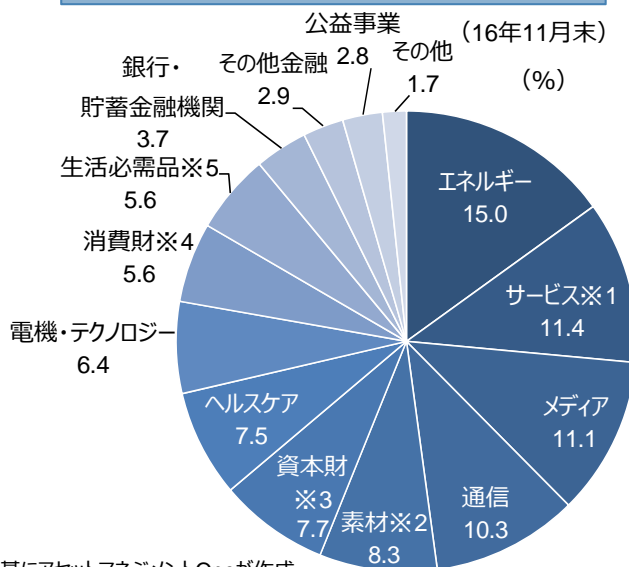
11月の米国ハイールド債主要5業種の値動きは、エネルギー-0.59%、サービス0.56%と上昇する一方、メディア▲0.10%、通信▲0.13%、ヘルスケア▲2.78%と下落しました。

米国ハイールド債の業種別の推移



\*セクター別のインデックス：BofAメリルリンチ・US・キャッシュ・ベイ・ハイールド・インデックスのセクター別インデックス

米国ハイールド債の業種別構成比率



出所：BofAメリルリンチ（使用許諾済）およびブルームバーグが提供するデータを基にアセットマネジメントOneが作成。

※1 サービス：ホテル・カジノ・空運等、※2 素材：化学・鉱業・紙等、※3 資本財：航空宇宙・機械等、※4 消費財：アパレル・自動車等、

※5 生活必需品：食品・薬・タバコ等

※業種別構成比率は、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



※使用した指数はP.5「当資料で使用している指数について」をご参照ください。

※上記グラフは、将来における米国ハイールド債の対米国債スプレッド等を示唆、保証するものではありません。

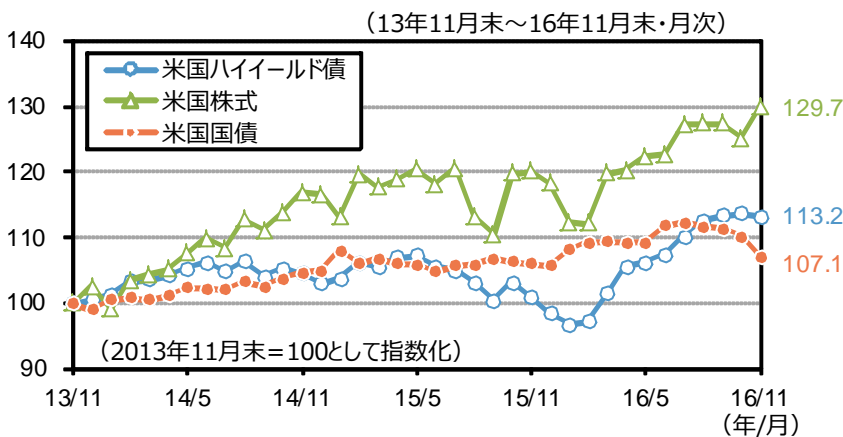
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## 今後の見通し

米国経済は緩やかな拡大基調を維持するとみている一方、商品市場や株式市場の低迷やリスク回避的な市場環境における資金流出などには、留意が必要であると考えます。中長期的には、世界的な金融緩和を背景に低金利環境の継続が見込まれる中、相対的に高い利回りを求める投資家需要が一定程度見込まれ、底堅く推移すると予想します。

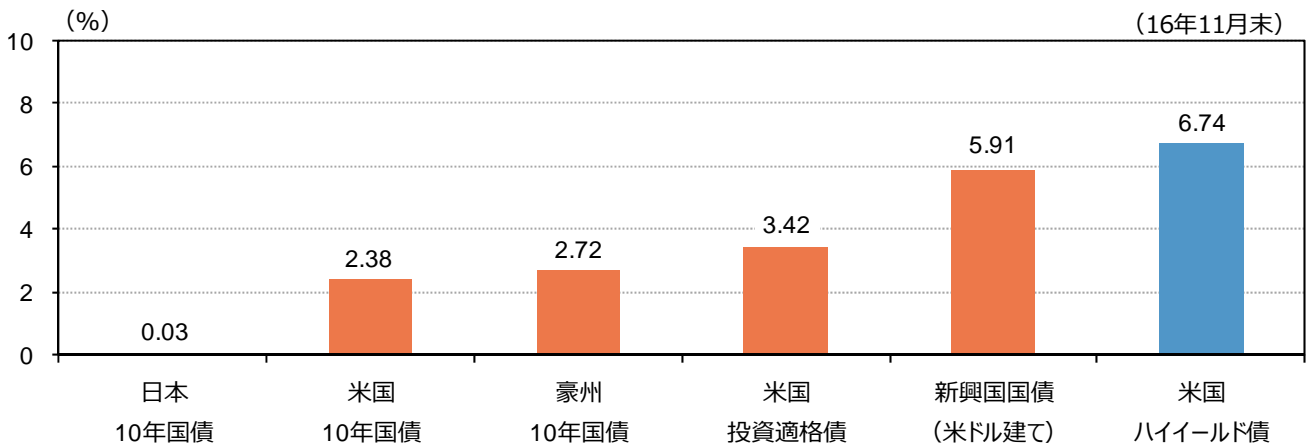
 <b>プラス要因</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国景気の改善</li> <li>・ 相対的に高い利回り水準</li> </ul>
 <b>マイナス要因</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界的な商品市場および株式市場の低迷</li> <li>・ リスク回避的な市場環境における資金流出</li> </ul>

## 各資産のパフォーマンスの推移と騰落率



	1ヵ月	6ヵ月	1年
米国ハイールド債	-0.4%	6.5%	12.2%
米国株式	3.7%	6.0%	8.1%
米国国債	-2.7%	-1.9%	1.1%

## 主な債券との利回り比較



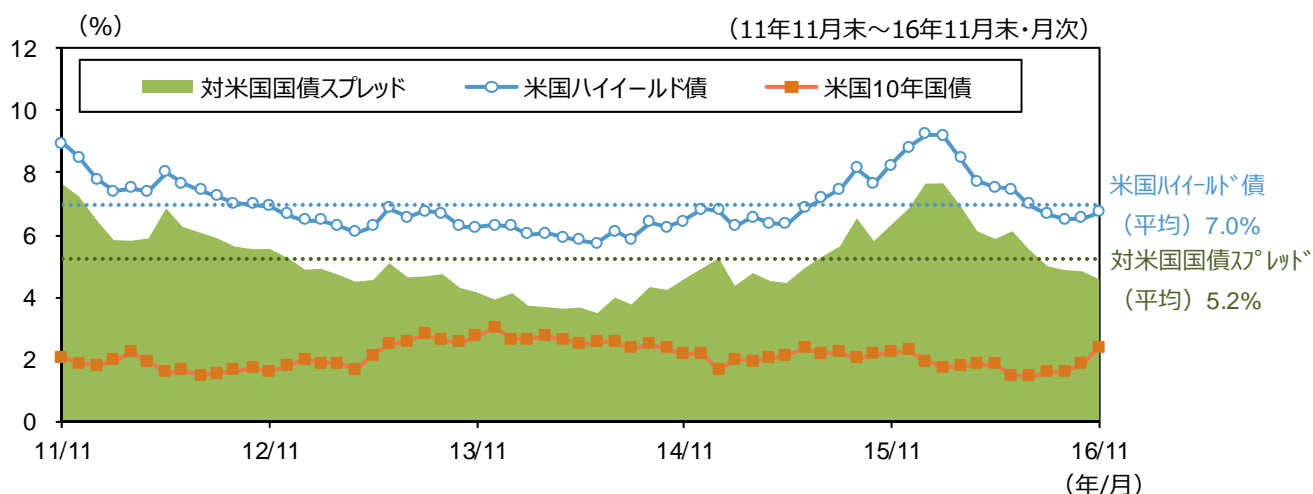
出所：ブルームバーグ、BofAメリルリンチ（使用許諾済）、JPモルガンが提供するデータを基にアセットマネジメントOneが作成。

※使用した指数はP.5「当資料で使用している指数について」をご参照ください。

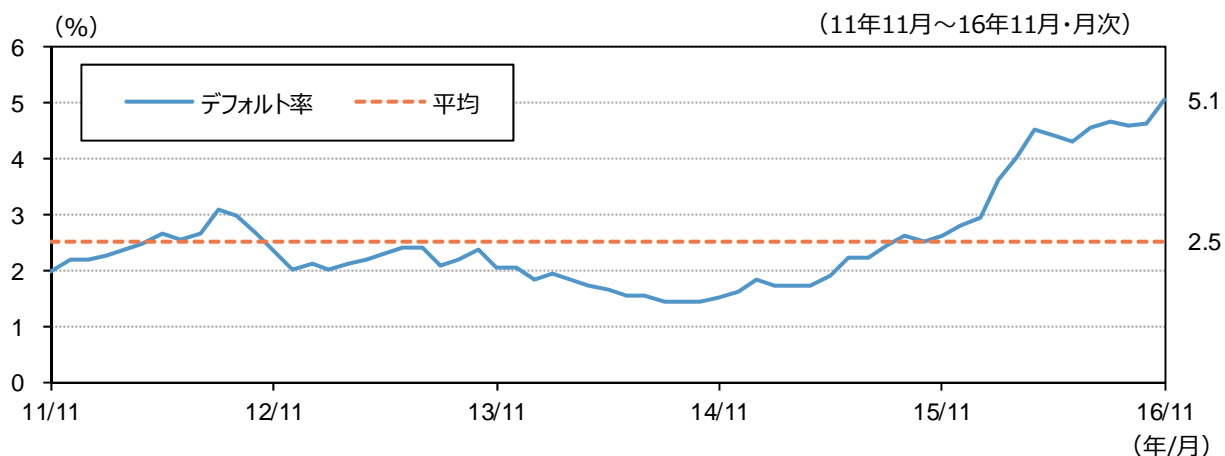
※上記グラフは、将来における各資産のパフォーマンスの推移と騰落率等を示唆、保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## 米国ハイールド債、米国10年国債利回りおよび対米国国債スプレッドの推移

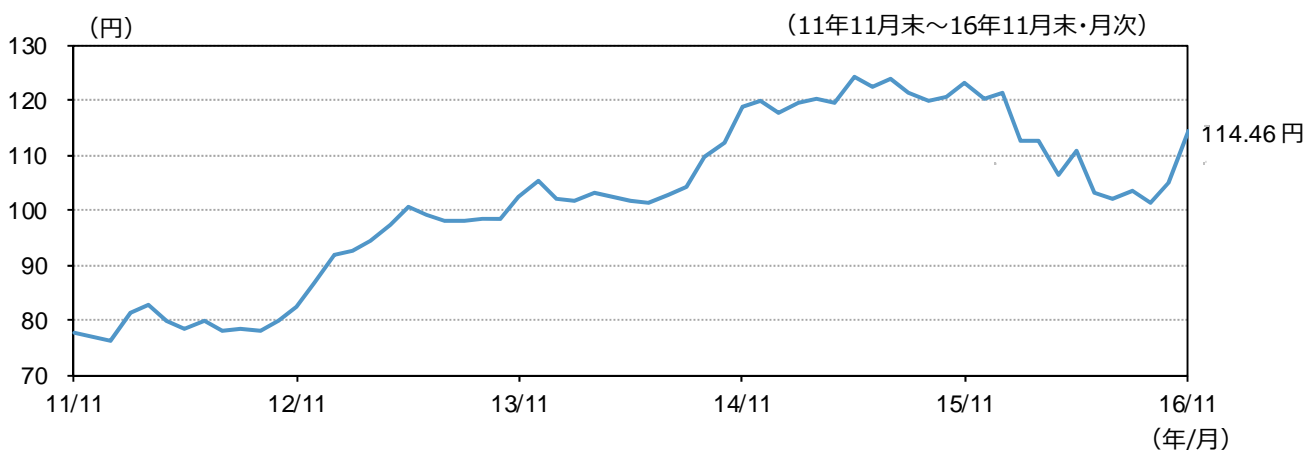


## 米国ハイールド債のデフォルト率\*の推移



\*デフォルト率は過去12か月間に米国ハイールド債市場においてデフォルトした銘柄数の割合を発行体ベースで算出したもの。

## 米ドルの対円為替レートの推移



出所：ブルームバーグ、BofAメリルリンチ（使用許諾済）、JPモルガンが提供するデータを基にアセットマネジメントOneが作成。

※使用した指数はP.5「当資料で使用している指数について」をご参照ください。

※上記グラフは、将来における米国ハイールド債、米国10年国債利回りおよび対米国国債スプレッドの推移等を示唆、保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

# 米国経済

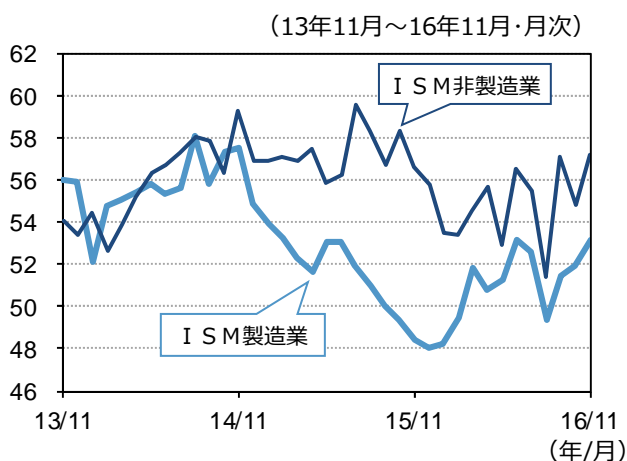
## 労働市場は回復基調

11月のISM製造業景況指数は、前月比1.3ポイント上昇の53.2と市場予想を上回りました。個別項目では「新規受注」が0.9ポイント上昇の53.0となったほか、「生産」が1.4ポイント上昇の56.0と改善しました。また、ISM非製造業景況指数は、前月比2.4ポイント上昇の57.2と市場予想を上回る結果となりました。

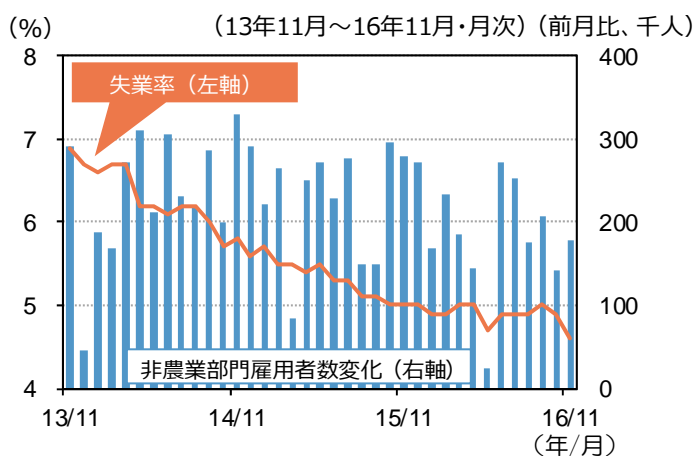
11月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比17.8万人増と市場予想並みの水準となりました。また、失業率は、前月比0.3ポイント低下の4.6%となりました。一方、時間当たり賃金が前月比0.1%減と予想外の減少となりました。

米国景気は、①家計部門のバランスシート調整進展や、②雇用所得環境の改善、③財政支出増、④製造業の在庫調整一巡などを背景として、緩やかな拡大が継続する見通しです。エネルギー価格低下などの景気下押し圧力も緩和方向にあります。大統領選ではトランプ氏が次期大統領に選出され、彼の掲げた減税やインフラ投資などの公約は景気刺激的な内容のため、米国景気の追い風になるとみています。

ISM景況指数



雇用統計



## 米国の主な経済指標・イベント

### 経済指標・イベント

12/9(金)	ミシガン大学消費者信頼感指数
13(火)	FOMC (～14日)
14(水)	小売売上高
14(水)	鉱工業生産
15(木)	消費者物価指数
16(金)	住宅着工許可件数
21(水)	中古住宅販売件数
22(木)	耐久財受注
22(木)	7-9月期GDP確報値

### 経済指標・イベント

12/23(金)	新築住宅販売件数
27(火)	S&P/ケース・シー住宅価格指数
27(火)	コンファレンス・ボード消費者信頼感指数
1/3(火)	ISM製造業景況指数
4(水)	自動車販売台数
5(木)	ISM非製造業景況指数
6(金)	貿易収支
6(金)	雇用統計

出所：ブルームバーグが提供するデータを基にアセットマネジメントOneが作成。

※上記グラフは、将来におけるISM景況指数および雇用統計の推移を示唆、保証するものではありません。また、上記表は作成日時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

### 【投資信託に係るリスクと費用】

#### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

#### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

##### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

信託財産留保額：上限0.5%

公社債投信およびグリーン公社債投信の換金時手数料：取得年月日により、1万口につき上限108円（税込）

その他の投資信託の換金時手数料：ありません

##### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

##### ■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

### 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

### 【当資料で使用している指数について】

■ 米国ハイイールド債：BofAメリルリンチ・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス

■ 米国株式：S&P500指数（配当込み）

■ 米国国債：BofAメリルリンチ・US・トレジャリー・インデックス

■ 米国投資適格債：BofAメリルリンチ・US・コーポレート・インデックス

■ 新興国国債（米ドル建て）：JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド

※BofAメリルリンチは同社の配信するインデックスデータを現状有姿のものとして提供し、関連データを含めて、その適合性、品質、正確性、適時性、完全性を保証せず、またその使用においていかなる責任も負いません。またアセットマネジメントOne(株)およびそのサービスや商品について、推奨、後援、保証するものではありません。

※JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイドは、JPモルガン社が公表している指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はJPモルガン社に帰属します。またJPモルガン社は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。